

## 第二章活用事例

### 「人道・博愛の精神を白衣に捧ぐ」― 萩原 タケ ―

中学校版

「心みつめて」 p.72～p.79

#### 【主題名】

人類の幸福への貢献

4-10 「世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。」

#### 【ねらい】

日本人として、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

《ねらいとする道徳的価値について》国際化が進む社会の中で、中学生にとっても世界の様々な国々が身近な存在になってきています。また、自然災害などの発生時には、国や地域を超えて相互に支援が行われています。そのような状況を見つめ直し、国際的な視野に立って世界平和について真剣に考えさせ、人類の幸福に貢献していこうとする心情を育てることが大切です。

#### 板書例

### 人道・博愛の精神を白衣に捧ぐ

― 萩原 タケ ―

ナイチンゲールという人について、知っていることはありますか。

看護婦

「白衣の天使」

戦場で多くの人を救った

萩原タケの  
写真



萩原タケ  
「日本の  
ナイチンゲール」



「『ナイチンゲール伝』を読んで、タケはどのようなことを考えたのだろうか。」

○ナイチンゲールの生き方に深い感銘を受け、自分も看護婦になって病氣やけがに苦しむ人のために尽くそうと心に決めるタケの強い意志に気付かせる。

#### 中心発問

「自分の体をベッドに固定してけがをした患者の治療を続けながら、タケはどのようなことを考えていたのだろうか。」

○傷病兵の国籍に関係なく献身的に看護にあたるタケの姿に着目させ、国や地域を超えて人々の幸福のために貢献することの尊さへの理解を深めさせる。

#### 《評価》

困難な状況にあっても国籍を超えて目の前で苦しんでいる人々のために尽くそうとするタケの思いを捉え、そのような生き方の尊さへの理解を深めることができたか。



「国家と人道のために尽くされるよう。『』というナイチンゲールの言葉を、タケはどのような思いで受け止めたのだろうか。」

○ナイチンゲールの言葉から自分の生き方について振り返るタケの姿を通して、世界の平和と人類の幸福に貢献する生き方について考えさせる。



「世界の平和と人類の幸福のために、自分たちはどのようなことを心掛けながら生きていけばいいのだろうか。」

○「心みつめて」「8-10」④世界の中の日本人として「」を活用し、今、世界で活躍する日本人や、国際社会での日本の役割などについて、関心をもつ。

## 導入



「ナイチンゲールという人について、知っていることはありますか。」

○ナイチンゲールの功績や生涯について理解し、「日本のナイチンゲール」と呼ばれた萩原タケの生涯を取り上げた資料についての導入を行う。

○教師が「人道・博愛の精神を白衣に捧ぐ」を範読する。

## 展開

#### 《評価》

日本人として、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てることができたか。

- ニュースなどで、世界でどのようなことが起こっているのかわかり、どうすべきかを考えるようにする。
- 戦争や紛争の原因や背景について学んだり考えたりする。
- 世界の様々な国や地域と日本とがどのように関わっているのかわかる。
- 世界で活躍する日本人や、国際社会での日本の役割などについて、関心をもつ。

世界の平和と人類の幸福のために、自分たちはどのようなことを心掛けながら生きていけばいいのだろうか。

「国家と人道のために尽くされるよう。」というナイチンゲールの言葉を、タケはどのような思いで受け止めたのだろうか。

- 自分の生きてきた道は間違っていなかったのだ。
- 看護婦という仕事を選んでよかった。
- 世界が平和になって、世界中の人々が幸福に暮らせるように、これからも精一杯取り組んでいこう。

自分の体をベッドに固定してけがをした患者の治療を続けながら、タケはどのようなことを考えていたのだろうか。

- 自分も看護婦になって病氣やけがで苦しむ人のために尽くしたい。
- 人の命を救う仕事はとてもすばらしい。
- ナイチンゲールのような生き方をしたい。

「ナイチンゲール伝」を読んで、タケはどのようなことを考えたのだろうか。

## 終末